

京阪神東雲

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会
 東雲会京阪神支部会報●第20号
 URL http://www.geocities.jp/keihanshin_shinonomo/index.htm
 連絡先 岡田俊一(山脈12回)
 神戸市垂水区神和台2-2-9



2016.11.19 於: 大阪キャッスルホテル総会

世代を超えて 校歌と一緒に歌いませんか

平成29年度の総会は ~太陽と水と緑の街~
 中之島公会堂を背景に 『中之島LOVE CENTRAL』で



【中之島公会堂】 (『中之島LOVE CENTRAL』側から見たスケッチ)

○×クイズ ※鳥取市街地西郊にあり、潟湖(せきこ)であり、長者伝説で有名な日本最大の池は『多鯰ヶ池』である。(答えは5頁)

懇親会へのお誘い

今年の京阪神東雲会総会は新しい大阪を象徴する会場です。「水辺に賑わいを!」と言う大阪改造のコンセプトで開発されました川の中にある会場です。場所は大阪市役所の対岸にあり夜になるとライトアップされてまさに不夜城の輝きです。そして今回の特別企画で総会終了後ご希望の方には1時間余りのサンセットクルージングを企画しました。中之島から天満橋までを周遊しフリードリンクで総会終了後の同期の皆さんと尽きぬお話をしていたければと思い企画しました。出来ましたら前もってのお申込みを返信ハガキに記載していただければ幸いです。

増田正 ●29年度総会幹事(山脈22回)

返信はがきの

近況報告から

(平成28年度)



柏葉 ★近況：私は95歳になりますが、元気で毎日を過ごしております。（12 長澤壽一） ★元気に過ごしております。概ね年3回は墓参の為帰郷します。地域社会との交流（市老連、地区老人会行事参加）月1～2回のゴルフを楽しんでいます。（18 佐々尾昭）

★高齢、体の健康に日々留意しております（89才）。（18 山根昭一郎） ★会報19号ありがとうございました。会の盛会を祈ります。（18 渡邊久也） ★H28.7 体調を崩し入院しました。9月退院静養中です。H27年S4年生れ同級生も少なくなり昨年最後のクラス会（参加10人）を鳥取で行いました。そして鳥取城攻めの本陣太閤（百谷地区）に登ってきました。わが故郷、生まれた処です。同級生がびっくりしていました。（19 河上義隆） ★おかげ様で元気に米寿を迎えることができ最近はもっぱら「捨てる」と「よく動くこと」に精進していますが思うようにいきません。「何とかなるわい」との思いで日々すごしています。（22 藤田忠雄）

山脈 ★年寄りの冷や水でも、昨年末の安保法制には反対です。（2 金谷兌清） ★大変お世話様です。今回の成功をお祈りします。（2 中谷明夫） ★元気にしておりますが、法事で鳥取に出かけます。初めての欠席です。盛会をお祈り致します。（2 濱本英子） ★高齢につき欠席します。（2 前田稔） ★御盛会を祈っています。肺がん再発。40日入院して加療。治癒せず。継続加療を拒否。昨年5月、帯状疱疹発症。後遺症の神経痛に未だに苦しめられています。（2 吉村猛） ★あと数日で83歳の誕生日。体調不備で動きにくい。（3 井上欣宏） ★御盛会をお祈り致します。（3 山口和子） ★義母次いで主人が亡くなり11年目になります。やっと自由になった今足があまり元気ではありません。皆様の御奮闘をお祈りしております。（3 山崎圭子） ★今年の同期会は7名が集合。食事后堂島リバーフォーラム（金魚の展示会）にてひとときを楽しみました。来年も約束して散会でした。（4 小路一完） ★人生百年社会に生きる80才代の高齢者ですが、同期の友人・知人の死去でじわじわと迫つて来る死への恐怖がある中で悶々と生きてています。御盛会を祈念します。（4 中尾英昭） ★元気で生活しています。主人の体調が良くないので残念です。（4

若松静子） ★健康の一つにカラオケに行ってます。

（5 加藤清） ★老いを覚えつつも元気にゴルフやグルメ旅行を楽しんでおります。この春は野沢温泉で素敵な山菜フレンチを。この秋は蓼科の里のジビエ料理を味わいに出かけます。（5 松下泰治） ★傘寿を過ぎ、八十路の体調維持に苦労する毎日です。自宅近くでの開催なのに出席できなくて残念。楽しい想い出を重ねて下さい。（5 森田明弘） ★山六です。傘寿祝を皆生温泉で行いました。山の日は同期の仲間の尽力で生まれたそうでうれしい出来ごとでした。（6 稲垣崇子） ★馬齢を重ねていく程、気の合う仲間達との会は益々大事となる。中味がなんであれ、わだかまりが一切無くて腹の底から笑い合える会話と、いつ思い返しても頬が緩む様な酒肴が同時に楽しめる会、これぞ既に100回を越えた私が誇る山六関西世話人会なり。（6 久永浩） ★昨年同様そこそこ元気で過ごしております。（7 竹内正志） ★残念ですが今年も神戸マラソン前日行事の為出席できません。宇野田久子さんとの別れという同期生として悲しい年となりました。（8 植月正章） ★今は東京の孫娘との毎日のメール交換が一番の楽しみとなりました。（8 下村美津江） ★三菱重工OB会垂水支部幹事&地域ボランティア活動等で頑張ってます。（8 橋本恭輔） ★血糖値下げる闘い、足裏に感じるしづれをなくす闘い、筋トレを含む運動に今取り組んでいます。（8 三浦久志） ★水泳指導員としてたまにはプールにて楽しく泳いでいます。（8 米倉良治） ★膝・肩・首の関節痛で難儀しております。（9 垣本信夫） ★同年齢の夫婦、喜寿と金婚式を迎えましたがまだ現役で頑張っています。（9 谷口祐晟） ★平城京、秋のイベントが沢山あります。金木犀の香りにさそわれてサイクリングでもしようか。（10 岩崎素彦） ★今年金婚式を迎えました。元気に過ごしています。（10 小谷元春） ★週3日、お泊まり勤務（介護）で頑張っています。5月に引っ越しました。（10 中村恵子） ★毎日5km歩いて体力気力ともに元気なのが唯一の財産です。熱暑の夏を避けて春秋に旅を楽しんでいます。行動のウイングをいつまでも拡げたいものです。（10 西尾康弘） ★町内会の副会長を命ぜられ、何とか無事につとめています。（10 西村律男） ★東中時代の同窓会と重なり残念ながら欠席です。次年度には元気で出席出来ます様に。出席の山脈十回生の方、お会い出来る機会があります様に。お互い体に気をつけてがんばりましょう。（10 西脇紀恵） ★さすが後期高齢者を実感しています。体力回復に時、日を要しています。健康第一でと気をつけています。

(10 前田佳子) ★後期高齢者になり体調も悪くなつて来ております。(11 鎌谷勉) ★卓球と木彫楽しく元気に30年以上続いています。ありがとうございます。

(11 川口ぬい子) ★タカの渡りを観測しております。

(11 河本浩) ★元気な内は出来る限り出席して「好機好齢者」同志の語らいを楽しみ、明日へのエネルギーをもらって帰りたいと思っています。(11 盛田和子) ★山脈33回の当番幹事の皆様、お世話本当にご苦労様です。11回が当番して楽しかった想い出がなつかしいです。主人が咽頭癌で治療、闘病生活。

愛犬(14才10月)の介護と見送り…。辛い時を過ごしていますが、頑張ります。

いつかまた。(11 澤田和子)

★介護2の主人(脳梗塞)を見ながら生活しています。

(12 川口紀子) ★テニスと将棋で元気です。(12 堂坂明宏)

★関西に来て50年にもなるというのに、鳥取の名前がうつったり聞こえたりするとつい夢中になります。(13 佐々木冴子) ★毎年ありがとうございます。元気に年金生活をしています。(14 田中昌樹) ★

38会(山14)は5月に大人の修学旅行をやっています。花見から始まり、一杯やって昔話とパターンは一緒ですが仲よくやっています。(14 宮内俊夫) ★ふるさとの雰囲気を味わいたいのですが、体調の変化(高齢で)で残念ながら欠席します。鳥取弁で話し合いたいです。(15 甲田伸子) ★昨年にすい臓癌手術をして早や一年。順調に回復し、八月は佐渡ヶ島、九月は湯村温泉と小旅行を楽しんでおります(15 野崎尚夫) ★京都では東雲会開催していただけないでしょうか?(15 日野郁子) ★何とか今のところ元気で生活しています。(16 内田昌二) ★丁度私も11/15古希を迎えます。家族で祝う旅行を計画しており欠席させていただきます。五体満足で今後共余生を送りたいと願っています。みなさんによろしく。(16 小谷保広) ★病気なく元気に生活しています。鳥取で過ごすことが増えてます。(16 本田節雄) ★11月18日中学校の同窓会で帰省します。月日の流れるのは早いものですね。一日一日大切に生きたいもので

す。(17 繁田秀江) ★水泳部卒です。年一度関西二泳会の集いを開催しておりますが、若い二泳会員の出席がなく困っており、この東雲会総会で参加要望をお願いして頂けませんか!!よろしく。(17 民谷登志雄) ★「大仏鉄道」が明治の頃奈良を走っていて、その研究会で楽しく頑張っています。遺構巡りで全国から来てくださるので嬉しい限りです。(17 長田富枝) ★週一回のウォーキング、月一回の病院通い、年一回の鳥取旅行。当分続きそうなスケジュールです。現在現役続行中です。(17 浜野純郎) ★10月、古希を迎えての同窓会が鳥取であり、旧交を温めて来ました。(17 森史子) ★昨年9月に帰省中、突然の病魔に襲われ中央病院に3ヶ月入院。12月~2月迄地元の病院に転院して3ヶ月。計6ヶ月の入院生活を送りました。今は元気に日々を過ごしておりますが、もう少し体力に自信が有りません。(17 和田節子)

★今年9月21日付で再就職しました。毎年2ヶ月に1回は私の実家と家内(後輩)の実家に帰省し、空き家の管理と養父の世話等で老後の生活を過ごしています。(19 小林憲徳) ★今秋来春の取り組。黄檗文華殿秋季殿、日泰修好130年記念展(九州国立・東京国立博物館)臨済禪師1150年記念展(東博)シンガポール建国50周年展(同国立)アジア文明博物館各出

展事業。(19 田中智誠) ★山脈19回の参加者が私一人でありませんように…。(19 田中満男) ★まだフルタイムで勤務しています。(19 中島正喜) ★母親が高齢の為施設に入っているので、鳥取には月に一度会いに行っています。今年の11月で91歳になります。毎月私と会うことを喜びとしてくれています。毛糸でセーター等を編んでくれます。母親が健在なのが私の生きがいでもあります。(19 吉村律子) ★老化はさらに加速し、右脚は「痛風・踵棘・下肢静脈瘤」の三重苦です。(20 井上繁範) ★滝川第二中・高校で未だに現役の教師を続けております。週17hと大変ですが、幸せな毎日だと思っております。書道は日展に挑戦しています。会の発展を祈念致し



夢、アップルバターと桜

林 美登利 山脈 28回

私が東高に入学したのは不純な動機だった。同級生や姉同様に西高に行くのだろうと漠然と思っていたが、親しい友人が一人、また一人と東高を受験するというので、急に行きたくなつたのを覚えている。元二中という名称も魅力的で、私は今でもこの控えめな数字が一番好きだ。もっとも通学に徒歩十分もかからぬ私には正当な理由だった。

高校二年の時に、東京の有名私大の指定校推薦が東高にやってきた。その二人目を目指そうと俄然、奮った。私の人生につきまとう勘違いの第一号である。三年になって最初の面談で松村先生に数学は苦手で、国公立には興味がないので、東京の私立大学に行きたいと言つたら、先生は大いに失望された。そのクラスは国公立専用で私は場違いだった。自分の行く大学はそこ以外にない！と一年間ひたすら十月を待ち、先生も応援してくれ、真っ先に志願した。夢、破れた。本番でもこの大学とは縁がなく、私は唯一合格した関西の私大に、有難く入学した。

二回生の夏休みにアメリカへ語学研修に出かけた。その広く自由な世界に憧れ、帰国してからは目指すは院への長期留学と、そればかりを考えるようになった。猪だから前進しかできない。ロータリー財団の奨学金を中国地方で申し込んだが、結果は補欠だった。誰か辞退してくれますようにと一年間待つたが、こことも縁がなかった。夢、また破れた。やっと手にした奨学金は、短期英語研修の授業料が支給され、カンザスの州立大学の授業料が減免されるというものだった。四回生の時に、優しい同級生と親しくなったが、私の頭の中には留学しかなかった。家族と親戚に華々しく見送られ、鳥取空港から羽田へ、そしてアメリカへと旅立ったのは1981年の6月だった。

北カリフォルニアでひと夏過ごしたあと、バスで六時間サンフランシスコまで揺られ、カンザスへと向かった。カンザスシティーの空港からダウンタウンへ、それから車窓が草原ばかりの道を走ること三時間。この大学では、学費が減額されると聞いていたが、実際はそうでなかった。騙されたのか誤解だったのか、いまだにわからないが、確かなのはあの英語力で奨学金がもらえると勘違いをしたことである。留学センターの所長ハーター氏に、「減免もな

ております。(20 清水雅) ★65才で仕事を続けていますが、毎週末は鳥取に往っています。(20 林成男)

★9月に中学のクラス会(50年振り)に帰郷しました。東高の近くまで行きましたが、時間がなく校舎を見ることが出来ませんでした。残念!!(20 三浦三千代)★休日は無農薬野菜作りに挑戦しています。(23 佐竹利繁) ★来年は高校卒業後45年になります。がんばります。(23 但井満則) ★第二の職場も折り返し(残り2年6ヶ月)何かと加齢を感じる日々ですが、若い社員に元気をもらしながら頑張ってます。

(23 津村明宏) ★現在鳥取の実家で単身赴任中。一年になります。(23 横山毅) ★元気に仕事に挑戦しています。(23 坂本平) ★あいかわらず「仕事に」「ゴルフに」精を出しております。(24 窪田美保子)

★毎夏2の6白井学級の同窓会を鳥取にて継続しています。同級の方のご参加をお待ちしています。

(24 坂川八郎) ★東京に単身赴任し、一年たちました。11月で大阪に戻り、新しい職場を探す予定です。

(27 井上忠志) ★定年迄何とか続けられるかなーと、体力に自信をなくしている今日この頃です。(27 高橋ひとみ) ★転勤に伴い家族共に東京に転居しました。(27 西尾信也) ★初孫ができて喜んでおります。又二人目の息子も結婚式をひかえ忙しくしております。そのあい間にテニス・ゴルフとまたパステル画と楽しんでおります。(28 甲斐千恵) ★敷居が高く遠慮していましたが、一度出席してからは、同窓・同郷の暖かく強い“きずな”にどっぷりとくるまれる「毎年恒例の楽しみ」になっています。(29 田中雅子) ★毎年一年に一回ですが、皆様に会える楽しみがきました。介護の仕事をしておりますが、足腰弱く出かけれない、病気療養等、でかけることの難しい方への訪問ができたらしいな～と考えております。(30 佐藤洋子) ★3年前当番幹事をさせていただいてから、毎年懐かしい友と会えるチャンスと「京阪神東雲」が読めることをありがたいなアと感じています。(30 田和道佳) ★年に一度会報を読んで、会える事を楽しみにしています。(30 宮崎朋子)

★時々は鳥取に帰っていますので、会報で楽しい情報をいただき参考にさせていただきます。(33 近藤和子) ★今年の春から大学院に入学し学んでいます。新しい視点が増え充実しています。(35 曲五月) ★高校を卒業して26年程…。我が子が来年は高校生になるなんて、時の過ぎるのは早いなとつくづく思います。(41 塚本真由美) ★今年の夏、卒業20年の同窓会があり参加しました。友人・先生方に再会し懐かしく楽しい時間を過ごしました。(47 山本里江)

く寮費は高い。私はこんなに小さくて、あまり食べないのに、大食のアメリカ人と同額の寮費は払えない。」と泣きついた。彼は受話器をとって誰かと親しく話をしたあと、住所を書いた紙切れを手渡した。行きついた先は、マザーBと呼ばれる92歳の女性が経営する下宿屋だった。下宿代は125ドルという寮費の半額以下だった。その後、ハーター氏に会う度にミドリは奨学金を得たのも同然と言われ続けた。私は週二日、キャンパスのカフェテリアで皿洗いの仕事を始めた。カンザス州の最低賃金は3ドル35セントで、一ドルが200円台の後半の時期だったので、日本の二倍近い時給だった。

大家のベイシングガーフ夫人は、とても儉約家で無駄な支出は一切しなかった。当時、どこのアメリカ人家庭にもあった電子レンジ、乾燥機、エアコンもなかった。日曜には教会に出かけ、月曜に洗濯をし、火曜に一週間分のパンを焼き、水曜には、学校教師を退職した70過ぎの長女キ

ヤロルの運転する車で、毎週同じものを買い出しに出かける。彼らはストイックで合理的な生活を送っていた。秋になると暗くなつてから近くの小学校の庭に姫リンゴを取りに行かされた。二人の老女はバケツ一杯のリンゴをぐつぐつと大鍋で煮詰めた。瓶詰された、のどがとけるほど甘いアップルバターは長い冬の間デザートで毎晩食卓に上った。

教育学修士を取得するに一年半かかり、その後隣町の大きな大学へ言語学を学びに移動したが、自分の限界を知り、二年半のアメリカ生活を終えた。帰国してから母の願いで、一年間地元で英語を教えたが、通訳になる夢を捨てられず、また家を出た。一度目、二度目より心は重かった。

ブリティッシュ・カウンシルというイギリスの外務省が出資する機関が職員を募集しているというので、応募したところ運よく採用してもらった。その

翌年に私は結婚した。結婚式に松村先生にスピーチをお願いしたら、何か言って欲しいことはないか、と聞かれたので、私は母校をとても誇りに思っているので東高のことを話して下さい、とお願いした。先生はとても喜んで下さった。先生も同窓であったことを知ったのは数年前のことである。ブリティッシュ・カウンシルの別名は英國大使館文化部だが、公館の堅苦しさはなく、定刻に帰れるので夜は通訳の学校へ通った。在職16年の間、責任あるプロジェクトやイギリス、アジア各地へ研修の機会をもらい、通訳の仕事も経験できた。情報へのアクセスが容易な時代となり、拠点を構えて英國文化を発信する必要性もなくなり、関西にオフィスはもうないが、この機関が日本で果たした役割は大きいと自負している。

大学を卒業して30年。息子が母校に合格した。親子三人で同窓と喜んだが、あろうことか、一浪の末に彼が選んだのは、かの東京の大学であった。我が子ながら惜しいこ

とをしたと思う。何度か故郷を離れたが、現在は頻繁に帰省している。鳥取の町は大きくかわったが、袋川沿いの桜並木はかわらない。桜が老木になり、さらに見事な花を咲かせ、大きな力を与えてくれる。自分の残りの人生もそうありたいと願う。

上のスケッチは、カンザス州インデペンデンスにある「大草原の小さな家」。チャールズ・インガルスが建てた丸太小屋を再建したものです。写真を元に岡田会長に描いていただきました。

○×クイズの答え

×です。答えは『湖山池』です。

因みに、『多鯰ヶ池』にまつわる有名な伝説に、『お種伝説』があります。お種に姿を変えていた白蛇は池の北岸大島の弁財天に祀られているそうです。また『多鯰ヶ池』は、近年では心霊スポットとしても有名らしい。

英語と私 (その3)

長澤壽一 柏葉 12回

私は野田先生に大きな感化を受け、英語に対する興味は急速にふくらんだ。そこで早速学校内に売店を開いていた市内の本屋、山本尚文館を通じて Pocket Oxford Dictionary を注文した。私が初めて手にした英語で書かれた辞書である。この辞書には Geisha(芸者)、Hara-kiri(切腹)、Shinto(神道)といった日本語が載っていた。

当時(1930年頃)、英國の言語学者で心理学者でもあった C. K. Ogden (オグデン 1889-1957) が 850 語すべてをまかなう Basic English (ベイシック・イングリッシュ) を提案していた。

私はこれに興味をもち、中学三年生の時、英國ケンブリッジの C.K.オグデン教授に直接手紙を書いた。私が初めて英文で書いた外国人あての手紙である。当時、欧洲向けの郵便物はシベリヤ経由でかなり早く欧洲に運ばれていた。封筒の表には「Via Siberia」(シベリヤ経由)と書き、確か二週間位で欧洲に着いていた。オグデン教授からは、すぐに返事と Basic English で書かれた 「The Basic Dictionary」と「That Night」(其の夜)というクリーム色の小型本 (16 x 9.5cm) が二冊送られてきた。コットン紙のようなボッテリした分厚い紙質とインクの匂いに私は有頂天になり二冊の本を抱えて友達のところへ走って行った暑い夏の日のことを懐かしく思い出す。

「The Basic Dictionary」は 7,500 語を Basic English で表現したものである。今では Basic English 版の新約聖書や鴨長明の方丈記などがある。語学を学ぶ上で大きな壁になるのが動詞の存在であるが、Basic English の大きな特徴は動詞が 16 語しかないことである。come, get, give, go, keep, let, make, put, seem, take, be, do, have, say, see, send. Basic English はこれで動詞のすべてをまかなおうというものである。

型破りな授業をされた野田先生だが、授業の最終日には、授業についてご自分の総括的な所見を述べられ、生徒個人の英語力についても言及されたように記憶する。私の場合、Basic English にのめりこんでいたことが強く先生の印象に残り、皆の前でそのことを紹介してもらい、嬉しかったことをいまだに覚えている。先生と同じように Pocket Oxford Dictionaryを持ち Basic English に興味を示す生徒は、私のクラスでは私以外には誰もいなかった。

さて、野田文蔵先生はなかなかの酒豪といわれ、お酒にまつわる武勇伝もいくつか伝え聞いたかすかな記憶があるが、当時の私はそのようなことには全く関心がなかった。野田先生はその後、奈良県の八木町にある中学校に赴任されたと聞いた。

しかし、野田先生と私の交流はその後も続いた。中学校を卒業して 約 3 年後に私が京都帝国大学法学部に入り、平安神宮の直ぐ近くの左京区岡崎天王町 98 番地、川本なおさん方に下宿していた頃、先生は奈良からわざわざ私を下宿に訪ねてきて下さったことがあった。二人で近くを散策したことを懐かしく思い出す。しかし、その後先生に再び会うことはなかった。

私が京都で下宿していたのは 1942 年 10 月から 1943 年 11 月までである。当時、戦局の悪化による兵員不足で、大学生も徵兵された。1943 年 12 月 1 日私も京都市伏見区藤の森にあった歩兵 128 連隊に入隊した。いわゆる「学徒出陣」である。野田先生がいつごろ訪ねてこられたのか記憶は定かでないが、恐らくいずれ戦地に向かう私に別れを告げる意図もおありになったのではないかろうか。

四、五年の英語の担任は徳岡英太郎先生だった。先生は当時教頭で、後に校長になられた。あだ名は「徳(とくう)」だったが、あだ名で呼べないような謹厳な先生という印象がある。どんな教科書を使ったのか覚えていないが、一つだけ今でも思い出す単語がある。それは、“intoxicate”という言葉である。この言葉の意味は 1:酒で人を酔わせる、2:物事が人を興奮させるということで、中学校の教科書には場違いな単語である。五年生の時だったことはほんやり記憶しているが、どんな文脈で読んだのかも 一切記憶になく、また、その後この単語に出くわしたことても無い。五年生用の教科書は、1 頁 23 行で 5 行ごとに右または左の空欄に行数を示す 5, 10, 15, 20 の数字がついている。生徒が教師に質問あるいは教師が生徒に教えるときに参考し易くするためである。一年生用は 1 頁 13 行で文字も大きく行数を示す数字は入っていないが、五年生用は文字が半分くらいに小さくなっている。

1939 年鳥取二中を卒業した。卒業して 13 年後堺市の三宝伸銅工業株式会社に入社してからも鳥取に帰省するたびに桜井先生、特に近所であったせいもあるが徳岡先生のお宅に度々お伺いして近況などを報告、英語の先生との交流は長い間続いた。 (了)



五代 徳岡英太郎 昭和21.3.30
昭和23.4.30

同窓生いきいき活動だより

近況報告欄に「英語絵本の読みきかせ」の取り組みに対する意欲を書いて送って下さった山脈30回佐藤洋子さん。彼女のその後を取材させて頂きました。羽曳野市の公民館施設にて行われる「こどもまつり」で読みきかせをされるとお聞きし、5月某日、同期と二人して近鉄電車で向かいました。

公民館の一室に「英語であそぼう」コーナーを設け、待っていると、おそるおそる入って来る子ども達。佐藤さんは明るく大きな声でHello!

Good afternoon! Ready? 子ども達は配られたプリントにローマ字で名前を書いたり、アルファベット順に点をつないでイルカの姿を完成させたり。この辺りから皆の表情も柔らかくなっています。

まずは『まめうしくんとABC』で发声練習。佐藤さんのA!B!C!に子ども達の声がこだまします。

次は『ほんなんてだいきらい』(Miss Brooks Loves Books! and I don't)。英語絵本と日本語版絵本を交互に読んで聞かせます。本の嫌いな女の子と、本が好きでたまらない図書のブルックス先生との愉快なやり取り。佐藤さんはブルックス先生みたいですね。続いてはカードゲーム。皆勝ちをねらって真剣勝負です。ところが何と!空気を読めない取材者の私が優勝てしまいました…。いよいよ最後に登場したのは『よかつたねネッドくん』(Unfortunately)。英文付きビッグブックです。1mもありそうな迫力の絵本を、こちらも英語と日本語を交互に聞かせます。子ども達はドキドキワクワク、絵本の世界に入り込んでいました。

場所を移して佐藤さんにインタビュー。

Q 佐藤さん、まずは、何故英語絵本の読みきかせを始める事になったのか教えて下さい。

A 自分が好きで集めた英語絵本を声に出して読んだら楽しかったので始めました。

Q どんな場所でどのくらいの年齢を対象に行ってい

るのですか?

A 「こどもまつり」の舞台や小学校の放課後教室、英語レッスンなどで行っています。主に幼児~小学生です。

Q 英語絵本を選ぶ上でどの様な事に気をつけておられますか?

A 優しい素材で楽しく読めるもの、たくさん読むことで英語回路を導けるものを選ぶ様にしています。

Q 英語絵本を翻訳でなく、あえてそのまま読みきかせる醍醐味は何ですか?

A ネイティブの子ども達が読む本の英語は簡潔でわかりやすく、とても良い基本リズムを感じられる事ですね。

Q ライブとして生き生きと感情移入して読む場合と、原文の力を信じて淡々と読む場合とあると思いますが、佐藤さんはどのような事に注意しておられますか?

A 聞きやすい発音で、「一緒に読んでみたい!」と思わせる速さを保つ様にしています。

Q では最後にとつておきのお薦めの英語絵本を教えて下さい。

A 英語学習のステップが段階的に設定されている『キッパー』(Kipper)の本と、『ねずみくんのチョッキ』(The Mouse's Vest)です。

近況報告から数年経って今日の日を迎え、このように生き生きと活動しておられる姿を取材する事ができました。佐藤さんありがとうございました。Thank you! (インタビュア一田和・大西・山脈30回)



若い世代も加わった 東京支部東雲会

7月1日（土）に首都圏の東京東雲会総会と懇親会に参加しました。毎年、交通の便の良い法曹会館で7月の第1土曜日に開催をされます。

長らく会長を務めた鈴木誠会長（山脈5回）が名誉会長になり、新たに林田英樹さん（山脈12回）が新会長に選任されました。

昨年に当会でも講演を頂いた深澤義彦鳥取市長（山脈22回）の鳥取の近況報告があり、同窓の“種まきピアノストリーチ♪”さんの演奏で盛り上がりました。

当日の画像や動画は、京阪神支部のホームページの同窓会画像の部屋でご覧下さい。

私からは、東西の同窓会で互いに参加し交流を深めることをお願いしました。（岡田・山脈12回）



鳥取のグルメ

●まねきのきつねうどん

幼いとき誓文払いなどハレの日に市内に出て買い物をして外で食事と言えば、まねきのうどんでした。家のうどんと異なり、店で金を出して食べる価値のあるごちそうでした。



帰省時に気になっていたまねき吉成店に入りました。メニューには、『大正九年創業。時代は変わっても、うどんの味は変わらない、利尻昆布を使った無添加だしです』とあり、きつねうどんのキャッシュには、『まねきと言えば!!伝統のきつねうどん 税込626円』という文字が躍っていました。さっそく、きつねうどんを注文。油揚げを甘く煮込んだのが、まねきの特徴と聞いています。

今やレストランチェーン店に成長し多くの家族連れで賑わう店内ではなく、「のれんの掛かった当時の姿の店で、このうどんは食べたかった」と思った私でした。（岡田・山脈12回）

アンケートの一部を紹介します！

1.総会について *会場は:良かった。『コンシェルト』でした。*参加者を増やすために:会費を安く、SNSの利用、旧姓明示等の工夫をしてはどうか。***深澤市長のご講演は:**故郷の近況や政策の方向性が分かり良かった。同窓生の市長の頑張りを肌で感じた。***感想・意見:**年代の違う方々との交流ができ楽しい時間を過ごせた。参加人数が100名以上になれば良い。

2.会報について: *近況が分かる。*興味深い内容。***楽しみにしている。**

3.鳥取と聞いて頭に浮かぶもの&東高時代の思い出: *まねきうどん・砂丘・すなばコーヒー・丸福コーヒー・松葉ガニ・二十世紀梨・とうふくわ・湖山池夕日

*東高祭(シンボル作り等)・校歌応援歌・クラブ活動(美術、柔道、バスケ)・自転車通学・桜並木・登山・遠泳

♪ご協力有難うございました♪

本年度会計報告

(会費で総会案内と広報紙作成が維持されています。納入のご協力をお願いします。)

平成28年度総会会計

(単位:円)

費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	50,000			
総会会費	498,200			73件
寄付金会計より繰入	7,772			
総会支出		496,341		会場支払
会議費		7,839		封入作業等
総会資料作成費		1,792		
合計	555,972	505,972	50,000	

平成28年度寄付金会計

費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	184,360			
平成28年度寄付金収入	211,330			167件
総会当日入金分	57,000			57件
雑収入(特別寄付切手)	23,404			
振込用紙印字		652		
平成28年度総会案内送料		47,152		512通
出欠ハガキ代@52×520		27,040		
データ管理費(金井氏へ)		100,000		
振込料		324		
総会案内会報印刷代		32,745		
運賃送料		2,342		
平成28年度総会費用補填		7,772		
会報編集通信費		1,000		
本部総会出席費用		10,000		
合計	476,094	229,027	247,067	

編集後記

第20号は、奇しくも同窓生3名の英語にまつわる記事となりました。中でも、長澤壽一氏(柏葉12回)の「英語と私」はどうどう最終回となりました。約80年前の貴重な体験を本当にありがとうございました。

今号での新しいコーナー「同窓生いきいき活動だより」では今後も皆様の取り組みを取材させて頂きます。ぜひ近況報告欄でお知らせ下さい。また、3頁のカットは山崎勝彦氏(山脈12回)に、スケッチは岡田俊一会長(山脈12回)にお願いしました。

最後になりましたが、この度ご寄稿下さいました皆様、発刊にご協力下さいました皆様に感謝申し上げます。

(おおにし・おかだ・やまべ)